

IV おわりに

平成19年（2007）診断分の広島県地域がん登録報告書が完成しました。ご承知のように広島県地域がん登録報告書は県内の協力医療機関からの届出による登録を柱に、広島県腫瘍登録（病理登録）や採録による広島市地域がん登録の資料も加わって集計解析されたものですが、いまだに登録過程でのいろいろな課題が浮上してくるようです。今回の解析に至る過程におきましても、その種の課題の解決を迫られる事態に遭遇いたしました。そんなことから、本報告書の発刊が半年遅れたことをお詫びしたいと思います。幸い、広島県のご理解と放射線影響研究所のご協力を得て、ここに新しい報告書を手にすることができました。改めて関係者の皆様に深甚なる謝意を表したいと思います。

今回まとまった報告書の概要は次の通りでした。上皮内がんを除きますと、

罹患数：男 10,876件、女 7,910件、合計 18,786件

罹患率（人口10万対）：男 470.9、女 302.4、男女計374.1

ID比：2.43 DCN%：11.3% DCO%：4.9%

となって精度の高さが維持されております。臨床進行度や受療割合の不明の割合が昨年の報告書よりも減少したことから、登録資料の質が向上している証と考えているところです。

ここで目を国の地域がん登録の方向性に目を転じてみますと、地域がん登録への参加がDPCの機能評価係数Ⅱへ取り込まれたこともあって、地域がん登録を行う自治体が40道府県を越え、すべての地域で本事業が行われるのは時間の問題となってきたようです。そしてそれに合わせて、地域がん登録と院内がん登録の項目を合わせようとする動きが表面化しております。院内がん登録で報告する項目のうちから必要なものを地域がん登録にそのまま登録したらどうかということ、この広島県地域がん登録においてもがん登録票の記載項目を変更する2年後の予定がすでに組まれているところです。

精度の高い地域がん登録のシステムはすでに軌道に乗って走り出しています。私たちはこれをもとに、今後につながる二つの企画にゴーサインを出しました。一つは平成23年度を第一回とする生存確認調査の開始です。広島県を中心に実施するための準備作業が進められています。この作業が順調に進めば生存率の算定が可能となり、受療者数などの推定も可能となります。広島県のみならず市町のご協力を仰ぐことになるかもしれませんが、何卒ご理解とご高配をお願いしたいと思います。二つ目は、順調に集積しつつあるがん登録の資料を、どのように利用するかという検討です。いよいよ広島県地域がん登録の本丸に近づきつつあるということだと理解しているのですが、広島県医師会の中に検討のためのワーキング部会を立ち上げました。県民のために役立てることができるように、広島大学の応援を得ながら、地域のニーズに見合う取り組みが進むことを期待しています。

おかげさまで広島県地域がん登録は地道な取り組みを継続しています。日本一のがん対策を行うという広島県の意気込みを受けて、広島県地域がん登録に関係する私たちは一層の努力を傾注する所存です。引き続き皆様のご支援やご協力を賜りたいと思います。

平成23年3月

広島県医師会常任理事
有田 健一